

金 川 路 新 聞

あすなるクラブ

シシャモ音頭を披露

整備中のターミナル学ぶ

地元の異業種経営者による

経済研修団体「釧路あすなるクラブ」(福田紀幸会長、会員50人)は11日、釧路キャッスルホテルで6月例会を開いた。この日は釧路港東港区に整備中の耐震・旅客船ターミナルについて学び、第2部会(服部恵子部会長)が旅行客を歓迎しようと考案した「シシャモ音頭」を披露し、会員

らの拍手喝采を浴びた。

例会の冒頭、服部部会長が「部会員14人が6カ月にわたる研究を重ねて発表にこぎつけた」とあいさつ。釧路開発建設部の根本任宏築港課長が整備目的や港を活用した観光促進、クルーズ船による観光振興などについて講演。完成後にに向けた取り組みとして、

①港エリアの魅力アップ②通

常時の利用促進でにぎわい創

出③市民の利用向上を図る

ことなどをアドバイス。「行政、民間、住民の協働で利用のあり方を考えるべき」などと述べた。

講演後、第2部会のメンバーが歌詞や振り付け、衣装な

ど全てを手作りで誕生させたシシャモ音頭を披露。旅客船を歓迎するアイデアの一つとして楽しく陽気に踊って歌い、会員たちからは努力をたたえる拍手が送られていた。

(高田薫)



全て手作りのシシャモ音頭を元気いっぱい披露した第2部会のメンバーたち